

## (23) 消 防 局

<b>事務事業名 消防業務推進事業</b>		<b>予算額</b>	<b>9,567</b>
局/部/課	消防局/総務部/消防総務課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書P. 165	要求 10,021
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 消防局の表彰事務、文書事務等を、円滑かつ効率的に執行するための管理運営を行います。 また、(仮称)緑消防署等複合施設の開所に伴い式典等を行います。		財政局長	9,567
		市長	9,567
		査定区分	B
		前年度予算額	8,198
		増減	1,369
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
<b>事務事業名 消防局運営事業</b>		<b>予算額</b>	<b>132,327</b>
局/部/課	消防局/総務部/消防企画課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書P. 165	要求 136,547
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 消防局及び消防署所の執務環境を維持するための複写機や仮眠用寝具の借上げ、消防活動に必要なとなる防火服を含む消防活動用被服等の調達を行います。		財政局長	132,327
		市長	132,327
		査定区分	B
		前年度予算額	138,716
		増減	△ 6,389
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
<b>事務事業名 消防署運営事業</b>		<b>予算額</b>	<b>6,639</b>
局/部/課	消防局/総務部/消防企画課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書P. 165	要求 6,699
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 消防署所における、消防事務の執行、適正な執務環境の維持に必要な物品の調達等を行います。		財政局長	6,639
		市長	6,639
		査定区分	B
		前年度予算額	6,897
		増減	△ 258
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
<b>事務事業名 消防企画管理事業</b>		<b>予算額</b>	<b>119,892</b>
局/部/課	消防局/総務部/消防企画課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書P. 165	要求 153,531
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 火災・救急をはじめ、大規模化、多様化する災害に対し、的確かつ迅速に対応するため、消防力の充実強化を図ることを目的に、「さいたま市消防力整備計画」を定め、これに基づき、災害活動拠点施設となる消防署所の整備を進めるものです。 また、消防法に定められている消火、救助、救急活動等に起因する損害賠償保険に対応する事務を行います。		財政局長	119,892
		市長	119,892
		査定区分	C
		前年度予算額	193,864
		増減	△ 73,972
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満

※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

※ 消費税については、要求時点では10%で見込んでいたため、査定で適切に精査したため、査定率に影響する場合があります。

<b>事務事業名 職員研修事業（消防職員課）</b>		<b>予算額</b>	<b>52,230</b>
局/部/課	消防局/総務部/消防職員課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書P. 165	要求 52,578
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 職員が、職務の遂行上必要な知識、技術等を修得し、更に市民ニーズに応えられる職員の育成を図ることを目的として消防職員研修を実施します。 また、安全運転管理体制の推進等についての事業を実施します。		財政局長	52,230
		市長	52,230
		査定区分	B
		前年度予算額	51,677
		増減	553
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
<b>事務事業名 職員管理厚生事業</b>		<b>予算額</b>	<b>11,485</b>
局/部/課	消防局/総務部/消防職員課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書P. 165	要求 11,553
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 職場における職員の安全と健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進することにより、市民に安心して暮らせる環境を整備することを目的に、局内の衛生管理、職員の予防接種の推進等について事業を実施します。		財政局長	11,485
		市長	11,485
		査定区分	B
		前年度予算額	11,595
		増減	△ 110
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
<b>事務事業名 消防装備運営事業</b>		<b>予算額</b>	<b>960</b>
局/部/課	消防局/警防部/警防課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書P. 165	要求 960
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 全国消防長会は、消防組織相互の融和協調を図り、消防の情報を交換して採長補短するとともに、消防制度及び技術の総合的研究を行い、もって日本消防の健全なる発展に寄与することを目的として組織され、さらに、消防行政を取り巻く諸情勢へ対処すべく、7つの事業推進委員会が設置されており、各委員長は政令指定都市から選任され、本市は、「技術委員会」委員長都市を担うこととなっています。		財政局長	960
		市長	960
		査定区分	A
		前年度予算額	622
		増減	338
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		
<b>事務事業名 災害対策事業</b>		<b>予算額</b>	<b>500</b>
局/部/課	消防局/警防部/警防課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書P. 165	要求 500
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 消防の広域援助体制として「緊急消防援助隊」が法制度上明確化され、本市では現在41部隊を緊急消防援助隊として登録しています。 派遣部隊は、ライフラインが寸断された被災地において、72時間以上活動することを可能とするために必要な輸送・補給活動等を行うことを求められているところであり、出動の求めに即応する態勢を整備します。		財政局長	500
		市長	500
		査定区分	A
		前年度予算額	500
		増減	0
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満

※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

※ 消費税については、要求時点では10%で見込んでいたため、査定で適切に精査したため、査定率に影響する場合があります。

<b>事務事業名 警防業務推進事業</b>		<b>予算額</b>	<b>33,251</b>
局/部/課	消防局/警防部/警防課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書P. 165	要求 38,213
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 社会構造の発展による都市構造の変化や市民の生活様式の変化に伴い、年々多様化する消防への市民ニーズを的確に把握し、より高度かつ先進的な消防体制の構築のため、教育訓練を実施し、部隊活動能力の向上を図るとともに、計画的に装備の充実を図ります。		財政局長	33,251
		市長	33,251
		査定区分	B
		前年度予算額	33,168
		増減	83
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
<b>事務事業名 救急業務推進事業</b>		<b>予算額</b>	<b>41,773</b>
局/部/課	消防局/警防部/救急課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書P. 165	要求 43,325
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 救急活動に必要な資器材の充実を図るとともに、タブレット型情報端末機器を有効に活用した医療機関情報の把握など、的確な救急サービスを提供することで、市民の安心安全を確保します。 また、救急車の適正利用など救急需要対策を推進します。		財政局長	41,773
		市長	41,773
		査定区分	B
		前年度予算額	38,038
		増減	3,735
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
<b>事務事業名 救急高度化推進事業</b>		<b>予算額</b>	<b>21,872</b>
局/部/課	消防局/警防部/救急課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書P. 165	要求 21,977
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 市民等の救急要請に際して、高度な救急サービスを提供するため、病院前救護体制の強化を図ります。 また、市民に対する応急手当の正しい知識と技術の普及を推進します。		財政局長	21,872
		市長	21,872
		査定区分	B
		前年度予算額	21,335
		増減	537
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
<b>事務事業名 指令業務推進事業</b>		<b>予算額</b>	<b>530,054</b>
局/部/課	消防局/警防部/指令課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書P. 165	要求 532,222
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 消防業務の基幹である消防緊急情報システム(指令システム・支援システム・画像伝送システム等)と無線設備の維持管理を行い、指令管制業務を確実に実施します。		財政局長	530,054
		市長	530,054
		査定区分	B
		前年度予算額	1,292,261
		増減	△ 762,207
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満  
 ※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。  
 ※ 消費税については、要求時点では10%で見込んでいたため、査定で適切に精査したため、査定率に影響する場合があります。

<b>事務事業名 消防システム推進事業</b>		<b>予算額</b>	<b>166,758</b>
局/部/課	消防局/警防部/指令課システム企画室	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書P. 165	要求 167,121
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 消防業務の根幹を支える消防緊急情報システムは、平成28年度に耐用年数を迎えることから、効率的な消防活動を継続させるため、東日本大震災の教訓を踏まえて最適なシステムを構築するとともに、現行システムからの確実な移行を行うものです。 また、消防救急無線については、電波法令の変更により平成28年5月末までにデジタル方式への移行を行う必要があることから、適切に移行整備を実施します。		財政局長	166,758
		市長	166,758
		査定区分	B
		前年度予算額	8,828
		増減	157,930
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
<b>事務事業名 火災予防推進事業</b>		<b>予算額</b>	<b>34,617</b>
局/部/課	消防局/予防部/予防課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書P. 165	要求 35,278
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 住宅防火対策を始めとした各種火災予防対策の推進及び火災原因究明のための調査技術の向上を図るとともに、市民や事業所の火災予防思想を普及啓発し、火災発生防止や火災による被害の軽減を図ります。 また、積極的に消防広報を推進し、市民や事業所の火災予防に対する理解を深めます。		財政局長	34,617
		市長	34,617
		査定区分	B
		前年度予算額	34,790
		増減	△ 173
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
<b>事務事業名 予防規制等推進事業</b>		<b>予算額</b>	<b>3,911</b>
局/部/課	消防局/予防部/査察指導課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書P. 165	要求 4,742
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 消防法及び関係法令に基づき、建築確認に伴う消防用設備等設置に係る消防同意事務、危険物施設及びガス・火薬類の許可等の審査事務並びに防火対象物等への立入検査及び違反処理を行い火災予防の徹底を図ります。		財政局長	3,911
		市長	3,911
		査定区分	B
		前年度予算額	3,056
		増減	855
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
<b>事務事業名 消防団運営事業</b>		<b>予算額</b>	<b>234,256</b>
局/部/課	消防局/総務部/消防総務課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/2目 非常備消防費	予算書P. 167	要求 255,274
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 地域防災の中核的存在である、消防団の運営を適切に推進していくために報酬等の支給や活動環境の維持、団員確保対策等の各種事業を行います。 また、自警消防団の運営を支援するため助成金を交付します。		財政局長	234,256
		市長	234,256
		査定区分	B
		前年度予算額	232,502
		増減	1,754
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満  
 ※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。  
 ※ 消費税については、要求時点では10%で見込んでいたため、査定で適切に精査したため、査定率に影響する場合があります。

<b>事務事業名 消防施設等維持管理事業</b>		<b>予算額</b>	<b>571,982</b>
局/部/課	消防局/総務部/消防施設課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/3目 消防施設費	予算書P. 167	要求 584,698
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 消防庁舎及び消防団施設等を対象に、建築物の維持管理に関する法令等を遵守し、安全で衛生的な環境を確保するため、適正な保守点検、修繕、改修等を行うことにより、突発的な事故を抑制し、職場環境の安全性向上を図ります。		財政局長	560,961
		市長	560,961
		査定区分	B
		前年度予算額	524,530
		増減	47,452
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
<b>事務事業名 消防施設等整備事業</b>		<b>予算額</b>	<b>1,648,148</b>
局/部/課	消防局/総務部/消防施設課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/3目 消防施設費	予算書P. 167	要求 1,686,167
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 消防体制の充実強化及び消防署所を計画的に整備するため、(仮称)緑消防署等複合施設及び指令センター庁舎の建設工事、(仮称)見沼区片柳地区消防署の設計を行います。 また、消防団の充実強化に係る事業を推進するため、消防分団車庫の建設工事及び設計業務等を行います。		財政局長	1,652,804
		市長	1,652,804
		査定区分	B
		前年度予算額	2,148,031
		増減	△ 499,883
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
<b>事務事業名 消防水利整備事業</b>		<b>予算額</b>	<b>154,114</b>
局/部/課	消防局/総務部/消防施設課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/3目 消防施設費	予算書P. 167	要求 156,740
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 消防水利の基準(消防庁告示第7号)に基づき耐震性防火水そう及び消火栓の設置を行うとともに、常時使用できるように維持管理を行います。		財政局長	154,114
		市長	154,114
		査定区分	B
		前年度予算額	99,550
		増減	54,564
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
<b>事務事業名 消防装備等維持管理事業</b>		<b>予算額</b>	<b>178,530</b>
局/部/課	消防局/警防部/警防課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/3目 消防施設費	予算書P. 167	要求 180,366
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 消防車両及び消防用資機材について、複雑多様化する各種災害に備え迅速確実に対応できるように、常に良好な状態を保つため維持管理を行います。		財政局長	178,530
		市長	178,530
		査定区分	B
		前年度予算額	181,570
		増減	△ 3,040
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満

※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

※ 消費税については、要求時点では10%で見込んでいたため、査定で適切に精査したため、査定率に影響する場合があります。

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 消防装備等整備事業		予算額	462,248
局/部/課	消防局/警防部/警防課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/3目 消防施設費	予算書P. 167	要求 472,239
<事業の目的・内容> 市民生活の安心・安全を確保するため、老朽化した消防車両を計画的に更新し、消防力の充実を図ります。 また、震災時に消防団が行う活動を強化させるため、震災対策用資機材の増強を図ります。		財政局長	462,248
		市長	462,248
		査定区分	B
		前年度予算額	26,228
		増減	436,020
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満  
 ※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。  
 ※ 消費税については、要求時点では10%で見込んでいたため、査定で適切に精査したため、査定率に影響する場合があります。